

ちびっく警察官、交通安全呼び掛け

「秋の全国交通安全運動」の一環として、9月21日(火)、朝の通勤客が行き交う播磨町駅前で連池小学校の1年生10人が、かっこいい制服に身を包み、たすきを掛けて街頭啓発を行いました。

「おはようございます」「交通安全をお願いします」と、緊張しながら一生懸命にあいさつをし、通り過ぎる人にPR用のポケットティッシュを手渡しました。



▲「交通安全をお願いします」

歓声と笑顔が絶えない交流会



▲「よ〜くねらって」と声援がとびます

今回で17回目となる「ゆうあい園とペタンク協会の交流会」が9月15日(水)に開催されました。会場となった明姫幹線喜瀬川高架橋下ペタンク場は、播磨町ペタンク協会員によって早くから花紙や色紙のくさりや華やかに飾られ、この大会を楽しみにしてやってきた16人の園生を迎え入れました。

競技は園生2人とゆうあい園職員、保護者、協会員を含む4人で1つのチームを作って行われました。播磨町ペタンク協会長の藤合健司さんが「競技を通じての交流は、自然に会話ができるのですよ」と話された通り、互いのプレーに全員が一喜一憂しながら、にぎやかに進められました。

16年度敬老会の対象者 3千918人

9月24日(金)、加古川市民会館にて長寿を祝う「敬老会」が開かれました。

式典では90歳以上の長寿220人、88歳の米寿62人、夫婦で150歳、151歳の方88組の、それぞれの代表の方に町長よりお祝い状と記念品が贈られました。

式典に続いて和楽器の演奏、マジックショー、歌、漫才などの余興が行われ、参加した方々は聴き入った声を立てて笑ったりして621人の参加者は楽しい時を過ごされました。



▲おめでとうございます



▲漫才でたくさん笑いました

お祝いを受けられた方々に、どんなふうに毎日を過ごしておられるのかをうかがいました。

長寿のお祝いを受けられた戸倉竹治さん「食事は腹八分、杖をつきながら近所を散歩しています」

米寿のお祝いを受けられた山下かつゑさん「田を耕しながら、子どもや孫たちと一緒に暮らしています」

ご夫婦でお祝いを受けられた安東敏夫さんと登志恵さん「夫婦一緒にグラウンドゴルフを楽しんでいます」



▲安東 敏夫さん 登志恵さん



▲山下 かつゑさん



▲戸倉 竹治さん

引っぱり癖、直せます

「飼い犬のしつけ方教室」が、9月19日(日)ほか、季節ごとに数回開催されています。

ドッグトレーナーの三好智美さんは「まず、犬のいうことを聞かない飼い主になってください」と、講義の中で繰り返し要求をします。吠えたときに飼い主が犬の欲求を満たす行動をとると、犬は吠えれば飼い主が自分のいうことを聞いてくれると思ひ込むのです。つまり、人が犬に従っているといふことになり「話していません」。

散歩のときに人を引っぱるようになる犬も、犬と飼い主との関係が逆になっている現状をどう直すか。

実技では参加している犬の行動を実際に見ながら、なぜそのような行動を



▲「ハイ、そこでリードを引きます」

するのかが、どうすれば落ち着いて飼い主の言う通りの行動ができるようになるのかをアドバイスしてくれます。

そして、実際に犬のリードを飼い主が持つて、犬に指示を出したり歩いたりして、しつけの方法を学びます。

また、犬を飼い始めたときの接し方が、その後の犬と飼い主との主従関係を左右することにも触れ、これから犬を飼いたいと考えている参加者からも「とても、分かりやすく参考になります」と、喜ばれていました。

今月も募集があります。情報のページをご参照ください。

ステージから飛び出す人形たち



▲わくわく♪ときどき…瞳はキラキラ

9月13日(月)、子育て支援センターに人形劇がやってきました。兵庫県立こども館巡回劇場で、演じるのは播磨町でもおなじみとなったウッドプロックの皆さんです。

上演されたのは「そら はたかんぼ」と「いろいろへんないろのはじまり」。

コップの中の水の色が次々と変わっていく様子に、みんなびっくりにしていました。

古宮獅子保存会

会長 藤沢 芳浩さん



活動をはじめたきっかけは?

私は、小学校1年生のときに、つり子(子役)として古宮獅子舞に出演しました。そのとき、近所のおっちゃんやお兄ちゃんが獅子頭を操っているのを見て、「大きくなったらほくも獅子舞するんやなあ」と、子ども心に小さな義務感のようなものを持ったことを、今でも覚えていました。

それから何十年か経って、古宮獅子保存会の方々から入会の勧誘を受けました。長年抱き続けた小さな義務を果たすことができる！ 私はその場で「お願いします」と二つ返事で答えました。

メンバー構成の特徴などは?

古宮獅子保存会は、古宮住吉神社の氏子を中心として、獅子舞に関心を持っている有志の方々、二子や本庄、明石市、加古川市、姫路市にも会員がいます。現在、会員数は33人。

活動の内容は?

毎年10月の第3土・日曜日に行われる、古宮住吉神社秋祭りの奉納獅子舞を活動の基盤としています。

また、大中遺跡まつりや各種イベントにも出演させていただいたり、毎月一回、播磨南小学校の伝統芸能伝承活動の一環として、古宮獅子舞の指導を行ったりしています。



▲世代を超えて団結します

ユニークなエピソード

私が古宮獅子保存会に入会して初めての獅子舞練習日のお話。何十年前、つり子のときに使っていた小道具を見つけました。今でも現役で使っていると聞いて、胸に込み上げてくるものがありました。伝統芸能とは、幼いころの思い出も、長く残してくれるものだとこのことを実感しました。

今の子どもたちにも、同じ経験をさせてあげたい。そして、古宮獅子舞の次の継承者になってほしい。そんな思いが、私の頭の中で一杯になっていきます。

播磨町教育講演会開催

8月20日（金）、恒例の播磨町教育講演会が開かれました。第1部は兵庫教育大学教授・播磨町教育審議会委員長の岩田一彦先生が「これからの教育のあり方」、また第2部では西願寺住職・山崎町教育委員の佐々木大観先生が「自他の命を大切に育てる子どもを育てるには」をテーマにして熱く語られました。共に今日的課題で、参加した町内160人以上の先生方も熱心にメモをとっておられました。

「新しい教育改革の方向」

岩田一彦先生

日本の子どもは勉強をしなくなりました。欧米諸国に比べ授業時間は少なく、中学校では1年間で、イギリスより140時間、アメリカより175時間も少ないのです。家庭学習についても同じで、家で全く勉強しない高校生は日本では42%、これはアメリカの23%、中国の8%に比べて圧倒的に多いのです。働き過ぎ、勉強し過ぎと言われていたのは昔の話で、今や日本は世界的にも勉強しない国になっているのです。このような状況の中で学力崩壊ということが危機感を持って考えられるようになってきました。

そこで文部科学省は昨年12月、学習指導要領の運用の転換を打ち出しました。つまり学習指導要領は子ども全員が身につけなければならない最低水準になりました。これまでは学習指導要領は、運用上最高水準だったのです。最低水準になりましたから、来年度から使われる小学校の教科書には発展的内容が多く含まれます。発展的内容は個性的な



で育てる教養知があります。学校で育てる学力は、世界のどこに行っても通用する基礎・基本です。一方、家庭や地域社会では体験を元にした教養知を育てなければなりません。その教養知が学校での内容知と結びついて本当の学力となるのですが、現状では家庭や地域社会が著しく生産力や教育力を低下してしま、何でもかんでも学校にのしかかっています。家庭や地域の教育力を上げると共に、先生方は大変なことですが、総合的な学習などでその不足の部分も補っていかねばならないのです。そして各教科の知的な学びと総合的な学習を結びつけないとなりません。そこで必要になってくるのがその地域としての教育です。

これから学校は、内容知としてのグローバル・スタンダード、学習指導要領としてのナショナル・スタンダード、各学校が独自に育成していくホーム・リージョンナリ・スタンダードを眺みつつ、カリキュラムを作っていくとかなければなりません。

育てる内容知と家庭や地域社会

「報恩の生活について」

佐々木大観先生

最近多発する青少年の命を軽視した事件には本当に胸を痛めます。家庭や学校で命を大切に育てる教育は、どのようにして進めたいのでしょうか。そもそも何の命を大切にするのかから考えていきたいと思います。

まず、食事を通して命の大切さを教育していくことが一番だと思います。例えば、漁師町に行くと、漁師さんが魚を食べるのを見るときびっくりします。漁師さんはとても丁寧に魚を食べるのです。それは魚の命で私たちの生活が成り立っていることを知っているからなのです。魚への感謝の気持ちがあるから丁寧に食べるのです。賭殺場に



行く牛は涙を流しています。牛は自分の運命を知っているのです。だから賭殺場で働く人たちは、ちゃんと牛の法要をするのです。そこに罪の意識があるからです。しかし、ものを殺さずらで。しかし、ものを殺さずらに食べている人は罪の意識がありません。魚を食べて当たり前、牛を食べて当たり前、当たり前のところに頭は下がりがりません。お陰様のごとくで頭が下がるのです。生かされている命（私たち人間）は、生かしてくれている命（魚や牛）に礼を言うのが当然なのです。生かしてくれている命に対し、手を合わせて「頂きませう」と言うことが、生きている私たち人間にとってとても大切な務めでしょう。親も教師も子どもも、食事の時に手を合わせて「頂きませう」を言うことが始めていきなさいです。そのよつな毎日の小さな積

み重ねが、命の大切さを心にしみ込ませていくのです。次に「蟬と蜘蛛を知らず」という言葉があります。蟬と蜘蛛は秋を知らないという意味です。なぜ知らないかと言つと、夏に生まれて夏に死んでいくからです。夏しか知らないセミは春や秋を知らない、いや、夏しか知らないのセミは、実は夏も知ってこそ夏が分かるのです。人間はどうでしょうか。人間は「生」を知っているのでしょうか。夏と冬と同じように、「死」を知らなければ「生」を理解することはできないのです。核家族が増えた今、家庭生活で死に接することはほとんどありません。だからこそ、死というものについて考える教育が大切になってきます。「死」を考えてこそ、自分の生きる意味が見えてくるのです。生かされている自分に感謝しつつ生きていく子どもを育てていきたいのです。



11月は「兵庫の教育推進月間」です

兵庫県では、「トライやる・ウィーク」や「いきいき学校応援団」、「スポーツクラブ21」など、県民が主体となった教育活動を展開しています。昨年7月「兵庫の教育改革プログラム」を策定し、副題「県民すべてがかかわる兵庫の教育をめざして」の通り、県民の参画と協働による教育に取り組んでいます。

そこで、子どもたちの教育への県民の関心と理解を一層高めるために、11月を「兵庫の教育推進月間」と設定しています。播磨町でもこのような趣旨に沿って、各学校園で以下のような取り組みを行います。

- ◎ 3日（祝）北小フェスティバル（播磨北小学校）ステージ発表とイベントやサーキット
- 3日（祝）半世紀お祝いの会（播磨幼稚園）播磨幼稚園の半世紀の歩みを祝う
- ◎ 5日（金）オープンスクール（播磨中学校）文化祭で文化部の発表、合唱やバンド演奏
- 6日（土）加古郡連合PTA実践発表会（中央公民館）単位PTAの実践発表と講演会
- 11日（木）播磨町連合音楽会（播磨小学校）
- ◎ 11日（木）大中遺跡を訪ねよう（播磨幼稚園）先輩に古代の生活を学ぶ
- 13日（土）授業参観・音楽鑑賞会（播磨南中学校）参観の後、生徒保護者対象に音楽鑑賞
- 13日（土）校内音楽会（播磨小学校）
- 13日（土）校内音楽会（蓮池小学校）
- 13日（土）校内音楽会（播磨南小学校）
- 13日（土）校内音楽会（播磨西小学校）
- ◎ 14日（日）野添コミセン祭 蓮池幼稚園児の歌の発表
- 16日（火）研究発表会（播磨西幼稚園）自然とのふれあいを通して生きる力の基礎を育む教育
- ◎ 17日（水）なかよしクリーン大作戦 全国幼稚園ウィークINはりまのイベントのひとつ
- 19日（金）合同防災訓練（播磨北小学校）学校、地域、行政、家庭の4者連携による訓練
- 20日（土）播磨町連合PTA綱引き大会（総合体育館）
- 25日（木）ミュージカル公演（蓮池小学校）文化庁後援の参加型ミュージカル
- ◎ 27日（土）～30日（火）播磨町子ども美術展（中央公民館）園児から中学生までの力作が勢揃い
- ◎ 28日（日）芸術鑑賞会（総合体育館）芸術の秋、マジカル・ファンタジカ公演
- 30日（火）保育参観・ミニコンサート（播磨西幼稚園）

（注1）◎印の行事は地域の皆さんの参加を呼びかけています。○印は参観可能です。

（注2）日程および詳しい内容については各学校園にお問い合わせください。



▲海辺のオリンピック

宝物の1週間!

~自然学校がくれた物~ 播磨南小学校

きないことをたくさん体験する中で、困ったことや、くじけそうになる事もありました。しかし、友達やリーダーの助けがあったから、最後までやりぬくことができました。最後の夜のキャンドルナイトでは、涙が止まりませんでした。この1週間で学んだ大切なことを、これからの学校生活で生かしていきたいです。



▲海洋センターで

9月6日(月)から5泊6日、国立淡路青年の家へ行って来ました。自然学校では、海洋センターでカヌー、ローボード、ヨットを教えてもらいました。飛び込みもできて、とても楽しかったです。また、4月から続けているクラス対抗戦として、お楽しみ対抗戦や、海辺のオリンピック、ディスクゴルフ、ホスティングもとても盛り上がり、友達の新たな一面を発見することができました。普段学校ではできないことをたくさん体験する中で、困ったことや、くじけそうになる事もありました。しかし、友達やリーダーの助けがあったから、最後までやりぬくことができました。最後の夜のキャンドルナイトでは、涙が止まりませんでした。この1週間で学んだ大切なことを、これからの学校生活で生かしていきたいです。

子どもリサイクルショップ「蓮池小店」

蓮池小学校



◀開店準備OK



▶ラーン、どう書くのかな

は安く販売したので、さほど多くはなかったのですが、それ以上に子どもたちにとっては、学校ではできない貴重な体験ができたと思います。そして、わすれがけですが、売り上げのすてきな使い道をしっかり考えていって欲しいと思っています。

8月21日(土)の野添「ミセン祭り」に、私たち蓮池小学校も、地域の1員として祭りを盛り上げようと、子どもたちが考えた店を出しました。夏休みは、出店に向け、全校生に提供してもらった多くの品物を整理したり、値札を付けたリ、また店の名前や飾りを考えたりして、児童会が中心になって準備してきました。こうして、当日は「蓮池小店」という名前のリサイクルショップを出店しました。祭りが始まると、たくさんあった品物がどんどん無くなっていき、店は大いににぎわいました。売り上げは安く販売したので、さほど多くはなかったのですが、それ以上に子どもたちにとっては、学校ではできない貴重な体験ができたと思います。そして、わすれがけですが、売り上げのすてきな使い道をしっかり考えていって欲しいと思っています。

思い出いっぱい、5泊6日

播磨西小学校



▶うまく進めたよ



今年も5年生は、国立淡路青年の家で5泊6日の自然学校を行いました。今年台風が多く、7日(火)は台風18号が来ました。急ぎょプログラムを変更して、5日目のものと入れ替えをしました。そうしたことで、全てのプログラムメニューを実施することができました。子どもたちが楽しみにしていた活動は、「カヌー、ヨット、水遊び」です。自分の力や友達と力を合わせることで、そのままの進み方に現れます。うまくいった手応えを味わえた子が多かったようです。最後の夜の「キャンドルパーティー」も盛り上がりしました。前半のにぎやかなスタンプと後半の静かな火を見つめる集い。本当に自然学校の最後にふさわしいひとときで、リーダーとも名残を惜しみ、涙がたくさん見られました。それぞれの成長をお土産に帰宅しました。

今年も5年生は、国立淡路青年の家で5泊6日の自然学校を行いました。今年台風が多く、7日(火)は台風18号が来ました。急ぎょプログラムを変更して、5日目のものと入れ替えをしました。そうしたことで、全てのプログラムメニューを実施することができました。

自然学校での新たな活動!

播磨北小学校



▲楽しく過ごした後はきれいに掃除



9月6日(月)から11日(土)まで5年生は、南淡路の「国立淡路青年の家」へ自然学校に行きました。2日目だけ台風のため外での活動ができませんでしたが、プログラムの日程を変更することにより、ほとんどの活動が実施できました。魚釣りやディスクゴルフ、砂の造形やバスハイク、炭焼きや野外炊飯、キャンプファイヤーなど、どれも楽しい思い出ばかりです。そして、今年、「来た時よりも美しく」をモットーに「緑の少年団」を結成し、奉仕活動を行いました。1回目は、「つどいの広場」の植え込みの草引き。2回目は、野外炊飯所周辺の林の清掃活動です。黄色いバナーをつけ、お世話になる宿舎や周辺の自然を守るために、少しでも力になれたらと思います。みんながんばりました。これも楽しく思い出です。

人権サークルボランティア活動中!

播磨中学校



▲きれいになりました



放課後、応援団の掛け声、部活動の歓声の響く校内、さわやかな笑顔で活動を終えました。

体育大会を前にした9月13日(月)放課後、校内を美しくして体育大会を開催しよう!という呼び掛けに、約30人の生徒が中庭に集合しました。呼び掛けたのは、4年前から、学校内外で活動している「人権サークルボランティア」です。メンバーは5人とまだ小さな集まりですが、意欲的に活動するボランティアサークルです。(夏休みには、校内に花壇を手作りしました)さて、当日は3年生を中心にとんとん参加者が増え、校門から中庭までを中心に、約2時間、2度の台風の後散らしたゴミや落ち葉集めに汗を流しました。普段の掃除時間だけでは、やりきれなかった所まで、すっかり美しくなりました。

「雨にも負けず、風にも負けず」の自然学校

播磨小学校



◀光に包まれて



楽しい時間が過ぎていきまいた。思い出いっぱいの自然学校になりました。

9月6日(月)から11日(土)まで、淡路島へ自然学校に行ってきました。2日目に台風18号の直撃を受け、宿舎の前の海は大荒れ、まわりの木々は大揺れ、暴風雨のため、いつもは宿舎の向こうに見えるホテルや山が全く見えませんでした。地震も来たようですが宿舎の中では、あまり揺れを感じませんでした。3日目からは、台風も去り、予定していたプログラム通り体験学習ができました。炭焼きやパン・ソーセージ作り、魚釣りや砂の造形など、どれも楽しいものばかりでした。特に、4日目のキャンドルサービスは忘れられません。儀式の火、親睦の火、そしてキャンドルサービスと進み、楽しい時間が過ぎていきまいた。思い出いっぱいの自然学校になりました。

体育祭! 雨が降っても頑張った!!

播磨南高等学校



▲力がみなぎる競技



9月10日(金)に、第21回体育祭が行われました。今年準備期間が短く、私たち生徒会も夏休みからその準備に取り掛かっていました。競技は100m走(男女)、リレー(女子4x100m、男子4スエーデン、男女混合4x100m)、大縄(八の字、ダブルダッチ、20人跳び)、綱引き(男子)、棒引き(女子)、騎馬戦(男子)をクラス対抗で行いました。台風の影響で途中から雨が降ってしまったにも関わらず、どのクラスも最後まであきらめず優勝を目指して頑張りました。その結果、総合優勝は2年8組で、準優勝は2年6組で、3位は3年1組でした。体育祭以降は大きな行事はないので、3年生は今まで以上に一生懸命受験勉強に励みます。

アテネに負けない感動を!

第26回南中体育大会 播磨南中学校



▲迫力ある応援と演技



「勝利を手にして輝け南中! 汗と涙と感動を!」が、今年の南中体育大会のテーマです。アテネオリンピックに負けないうらの感動を、自分たちの手で創りあげようと、生徒会執行部を中心に各委員会や種目委員、そして各応援団がそれぞれの役目をしっかりとこなして当日を迎えました。校務員の満洲さん手作りの新しい入場門をくぐって、堂々たる南っ子たちの入場行進で、プログラム開始です。午前中は、3年生女子から全員リレーの挑戦状を受けて先生チームも走り、アンカーの校長先生が無事(?)2位でゴールできました。また、恒例となった応援合戦。今年は、渡邊栄治団長率いる3組黄団が素晴らしい演技で優勝しました。午後からの体育演技では、男子組体操の迫力ある5段タワーや7段ピラミッド、そして女子の華麗で可憐なダンスに魅了され、感動いっぱいの体育大会でした。

あなたに はつたつち

リレーエッセー⑦

焼酎と私



福本 和也さん
(野添南)

趣味 映画鑑賞、旅行

私は、3年前から飲食店を始めました。毎日があつたという間に過ぎていく中で、近年ブームの1つになっている本格焼酎についてお話ししたいと思います。

一言で焼酎と言いますが、麦・米・芋・蕎麦・黒糖・紫蘇・粟などたくさん種類がありますが、やはり芋焼酎が中心です。

以前までは芋焼酎というワードが安いのに関わらず匂いがきつくて飲み辛いと、若い方や女性などからは敬遠されがちでしたが、現在は味も香りもまろやかに、女性にも好まれるようになりました。

私も焼酎には元々無関心でしたが、お客さまから奥の深さを

学び、また九州を中心に他府県の蔵元や酒屋さんとお付き合いをさせて頂くうちに、焼酎の良さや造り手の味や香りへのこだわりなどを知り、今では焼酎マニアのようになってしまいました。

また、焼酎は体にも良く、血行を促す効果があり、血糖値も下げられるそうです。

皆さんもご存じだと思いますが、今ではほとんどの芋焼酎が入手困難となり、中には一本数万円というプレミアがついているものまであります。

しかし、より多くの方に焼酎の魅力を知って頂きたいと思っていますので、私は適性価格にこだわっています。このブームの中で非常に大変なところですが、

お客さまに良いお酒を美味しく、そして楽しく飲んで頂けるようなお店でこれからもあり続けたいと思っています。私の場合、仕事と趣味が一緒になっている感じもしますが…。

自分のお店を持って、苦労はたくさんありますが、お客さまからの「おいしかったよ」「また来るね」この言葉を頂けるように毎日頑張っています。

最後に、このリレーエッセーという場をお借りして、なかなか口に出せない気持ちを伝えたいと思います。

いつも影で支えてくれている家族、毎日一生懸命頑張ってくれているスタッフのみんなへ「ありがとう」
これからもみんなで頑張っていきたいと思っています。



お兄ちゃん、お姉ちゃん 運動会、楽しみだね 播磨西幼稚園

◀「たくさん遊んでくれてありがとう」



いろいろな遊びを「なつかしい」「へえー、こんなんでできるんや」と一緒にしてくれました。西小学校の運動会には、6年生と一緒に参加します。お兄ちゃん、お姉ちゃんよろしくね。



「お兄ちゃん来た！」と笑顔の子もたち。今日は西小学校の6年生が幼稚園へ遊びに来てくれました。積木、色水作り、砂遊びと

はじめての図書館!! 播磨幼稚園

「お母さんいっばい絵本読んでね。」次、皆で行く日が待ち遠しいです。



▲「この本、かしてくださいね」



ね。皆の表情が和らいでいました。絵本を読んでもらった後は、もう一つのお楽しみ「お母さん、一緒に絵本借りよう」。自分で選んだ本を小脇に抱えています。

「お話のローソク」がともされ、詩・素話・絵本とお話の世界に引き込まれていきます。お話が終わり、9月生まれのお友達かローソクの火を消して「ありがとう」「また、来るね」。

播磨幼稚園では、月1回図書館へ出掛ける「図書館の日」があります。年長児は1学期からですが、年中児は2学期から始まります。今日はうさぎ組が行く日です。「図書館、いっ行くのー」「お弁当食べてから行くよ」と、朝からとっても楽しみにしています。図書館に着くと絵本ボランティアさんに「こんにちは！」と元気よくあいさつ、



▲「図書館にもかって、出発！」

おじいちゃん、おばあちゃん、大好き! 蓮池幼稚園



▲とっても楽しい1日でした

「がんばれ! すこいぞ!!」とおじいちゃん、おばあちゃんの声援が飛びます。一方砂場では、年少児がおじいちゃん、おばあちゃんと穴を掘ったり、山を作ったりして楽しんでました。その後、部屋に入って歌を聞いてもらったり、一緒に手遊びやダンスを踊ったりして、とっても楽しい1日となりました。

おじいちゃん、おばあちゃんを園にご招待しました。子どもたちは張り切って登園し、おじいちゃん、おばあちゃんに「使ってね!」と、うちわをプレゼント。うちわに描いた絵や写真を見てお礼を言われると、にっこり。そして折り紙を折ったり、飼育しているメダカやカメを見せたりして、園内をご案内しました。園庭では、竹馬や竹ポックリをする年長・年中児がバランスを取りながら歩くのを見て、「がんばれ! すこいぞ!!」とおじいちゃん、おばあちゃんの声援が飛びます。一方砂場では、年少児がおじいちゃん、おばあちゃんと穴を掘ったり、山を作ったりして楽しんでました。その後、部屋に入って歌を聞いてもらったり、一緒に手遊びやダンスを踊ったりして、とっても楽しい1日となりました。



▲見ててね~

お月見だんごを作ろう!! キューピット保育園



◀おいしいそうなだんごがたくさんできました

「こんにちは。また来ましたよ」と、にっこりあいさつをして下さる老人クラブのおばあちゃんにすっかり慣れ、仲良しになったキューピット保育園の園児たち。今日は、5歳児の子どもたちと一緒に「お月見だんご」を作ったかきかき…。

「さあ皆さん!! 大きなボールの中にだんご粉を入れてください」。おばあちゃん先生の声と同時に、だんご粉を勢いよく入れる子どもたち。「ふあー」舞い上がる粉煙りに、驚いたり歓声を上げたり、子どもたちは何が出来るのか興味津々です。

子どもたちは、おばあちゃん先生の真似をしてだんごを丸め、手作りに挑戦です。「おばあちゃんの手は魔法の手みたいだね!!」感心する子どもたち。ススキを飾って、だんごをお供えして、楽しかった1日でした。またも忘れられない思い出ができました。

わんぱくはりまっ子



のやま きょうへい
野山 恭平ちゃん (1さい)
東本荘
やんちゃなままで大きくなってね。
(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出たい「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

子育てのヒント

教育委員会教育推進室 木下康雄

逃がさず叱りましょう。手をあげるのではなく、変な言い方ですが本心に一生懸命怒りましょう。そして叱る時は1度にひとつにして過去のことを持ち出さないことです。

また、誰がほめるか。誰が叱るか。これも大切なバランスです。今、家庭が果たすべき家庭教育がよく話題に出ます。過保護や過干渉、虐待など様々な問題が指摘されています。よく、お母さんは、子どもを包み込むような優しさを、そしてお父さんは、毅然とした態度を取る厳しさをといますが、ここでもバランスが必要です。すなわち、優しいお父さんと厳しいお母さんであってほしいと思うのです。そして何よりも子どもを思う親の気持ちが大切です。

子育てには、マニュアルはありません。10人の子どもには10通りの子育てがあります。家庭は一つのチームと考え、大切な子どもをみんなで大切に育てていきましょう。